

### 北海道防災対策支援システム

防災情報をメールで受信できるサービス

北海道が行っている北海道防災対策支援システムを知っていますか?

事前に登録しておく、防災情報をメール受信することができます。外出先でも情報を入手することができますので、ぜひ活用してください!

**メール配信する情報**

火山情報・気象情報・津波警報・避難情報・地震情報  
メールは地域・情報を選択することができます

**登録方法** 2次元バーコードからもアクセスできます→

携帯電話から 

<http://www.bousai-hokkaido.jp/mobile/>へ

**登録手順**

- ① 配信登録を選択→登録を選択→同意・免責事項確認で同意を選択→空メールアドレスを送信
- ② 仮登録確認メールを受信→開封してURLを選択
- ③ 配信希望支庁を選択→受信する内容の詳細を登録→登録内容の確認→完了

登録料や会費は一切かかりませんが、登録・メール受信にかかるパケット通信料がかかります。

パソコンは <http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc/> へ

詳細は北海道総務部危機対策局防災消防課 ☎011-231-4111(内線22-564)

### ■ 風と被害の状況 ■

風速 (m/s)	人や建造物への影響
10m以上 15m未満	風に向かって歩かなくなる。傘がさせない。取り付けの不完全な看板やトタン板が飛び始める。
15m以上 20m未満	風に向かって歩けない。転倒する人も出る。
20m以上 25m未満	しっかりと体を確保しないと転倒する。鋼製シャッターが壊れ始める。
25m以上 30m未満	立ってはいられない。屋外での行動は危険。ブロック塀が壊れたり取り付けの不完全な外装材がはがれて飛び始める。
30m以上	屋根が飛ばされたり、木造住宅の全壊が始まる。

### ■ 雨量と被害の状況 ■

雨の降り方と1時間の雨量	人の受けるイメージ	災害発生状況
やや強い雨 10~20mm	ざーざーと降る	地面一面に水溜りができる。長く降り続けると危険。
強い雨 20~30mm	どしゃ降り	傘を差していても濡れる。下水や小さな川があふれる。
激しい雨 30~50mm	バケツをひっくり返したように降る	車のブレーキがきかないこともある。土砂災害が起きやすくなる。
非常に激しい雨 50~80mm	滝のように降る	傘は役に立たない。車の運転は危険。
猛烈な雨 80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる	雨による大規模な災害の発生する恐れが強い。

雨量と災害の発生状況は左表のとおりであり、激しい雨になるにつれ、大きな被害が発生することがわかります。

また風による災害は、建造物などの損壊を招き、停電などにつながるため、注意が必要になります。風による被害の発生状況は左表のとおりであり、建造物の破損のみではなく、飛来物によるけがなどにも注意が必要になります。

### 危険を感じたら

台風や大雨などで危険を感じたり、避難勧告が発令されたら、速やかに近くの小・中学校などの避難所に避難しましょう。避難する場合は避難時の心得(下表)に従って行動しましょう。

万が一、家屋などが浸水してしまったり、逃げ遅れてしまった場合は、自宅の2階などに避難して救助が来るのを待ちましょう。やむをえず冠水した道路を歩く場合は、長い棒を杖がわりにして安全を確認しながら歩き避難しましょう。

### 風水害に備えて

日ごろから風水害に備え、被害を最小限に止めるため、家庭においては非常用品を備えておく、避難場所を確認しておく、最新の天気予報で常に台風や大雨に関する情報を確認することが大切です。

そのためには、テレビやホームページなどで情報を収集する。風で飛びそうなものを撤去する。車庫、物置のトタン屋根などを補強しておく。極力外出を控える。川や傾斜地には近づかないなどの注意が必要です。

また、大雨警報や洪水警報が発表されたら避難の準備をしてください。警報はテレビやラジオの速報、NTTの01143177番、気象庁のホームページ、携帯電話などから入手することができます。



### 日ごろの心がけが大切

現在、台風や豪雨はある程度まで到来時期や規模を予測できますが、防止することは不可能です。しかし、日ごろから防災に関する知識を持ち、適切な対処をすることで、被害を最小限に止めることができます。

また、大規模な災害時には、防災関係機関のみでは初動態勢が不十分となる場合が想定されるので、地域の人たちが「自分

### ● 避難時の心得 ●

- 素足・長靴はやめましょう。運動靴などひもでしめられるもので避難しましょう!
- 危険がせまったときには市役所や消防署などから避難の呼びかけをすることがあります。呼びかけがあったときには速やかに避難しましょう!
- できるだけ2人以上で避難しましょう!
- お年寄り、小さな子ども、体の不自由な方にみんなが協力し、浸水が始まる前に避難しましょう!
- 車での避難は渋滞が起きたり、緊急車両の妨げとなるのでやめましょう!
- 橋を渡っての避難は増水した川へ転落する恐れがあるのでやめましょう!

### ■ 非常用品を準備しておこう! ■

いつ災害が起きても、すぐに対応できるように非常用品を備えておきましょう! 次の例を参考にリュックなどに入れておきましょう!

- **貴重品**  
現金、預貯金通帳、キャッシュカード、印鑑、権利書、有価証券、健康保険証などをすぐに持ち出せるようにしておく
- **飲料水、非常食**  
缶入りやペットボトルのミネラルウォーター、乾パン、缶詰、インスタント食品、栄養補助食品、あめ、チョコレートなど
- **懐中電灯**  
予備の電池を忘れないようにしておく
- **救急医薬品**  
傷薬、胃腸薬、目薬、脱脂綿、風邪薬、解熱剤、ばんそうこうなど
- **携帯ラジオ**  
AM・FM両方聞けるのが望ましい
- **その他**  
衣類、タオル、軍手、防災ずきん、雨具、ウエットティッシュ、ビニール袋、筆記用具、ひも、ナイフ、マスク、紙オムツなど

9月1日は「防災の日」です。台風や大雨などが発生したとき、被害を小さくするために、あらかじめ何ができるのかについて、今一度、考えてみませんか。



### ■ 避難の呼びかけと市民の皆さんの取るべき行動 ■

分類	市民のみなさんの行動	市からの呼びかけ(例)
避難準備情報	●いつでも避難できるように避難の準備をしておきましょう。 ●子どもやお年寄り、体の不自由な方などの避難に時間のかかる人は避難を始めましょう。	町のみなさん。 川が増水しています。避難の準備をしてください。
避難勧告	●お互いに助け合ってすみやかに指定された避難所に避難を始めましょう。	町のみなさん。 川が決壊する恐れがあります。避難を始めてください。
避難指示	●ただちに避難しましょう!	町のみなさん。 川が決壊する危険があります。ただちに避難してください。